

# 令和6年度「学びについての調査（5月分）」報告書

報告者 田中健史朗  
(教育学部山梨県小学校特別教育講座)

## 1. 調査内容

生徒の学びを「①学習におけるメタ認知活動」、「②学習に対する動機づけ（やる気）」という2つの観点から調査しました。

## 2. 調査時期

2024年5月に Google フォームを用いて実施しました。

## 3. 調査協力者

山梨大学教育学部附属中学校の生徒 392 名（1年生：132 名，2年生：132 名，3年生：128 名）から回答を得られました。

## 4. 調査結果

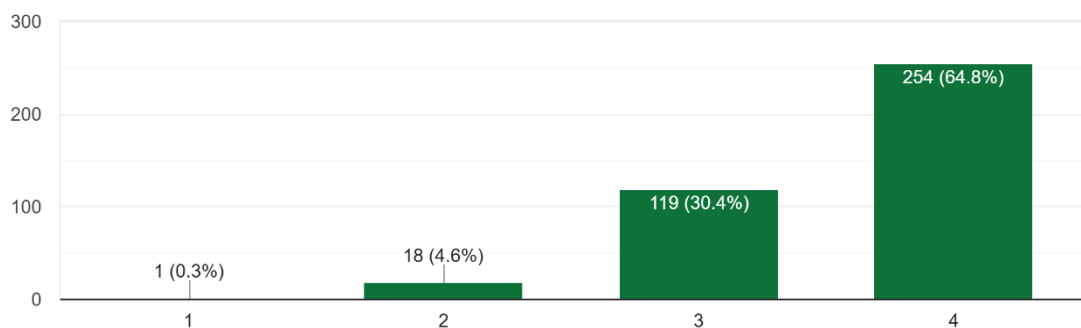
### (1) 学習におけるメタ認知活動の結果

<特によくできているメタ認知活動>

- ・学習する時は大切なところはどこかを考えながら学習する。
- ・学習している時に、自分がわからないところはどこかを見つけようとする。
- ・学習する前に、これから何を学習しなければならないかについて考えている。

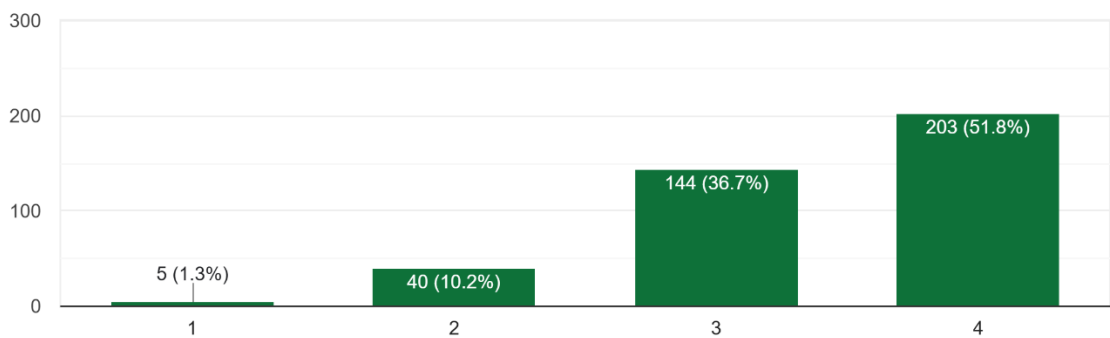
### 4. 学習する時は大切なところはどこかを考えながら学習しますか？

392 件の回答



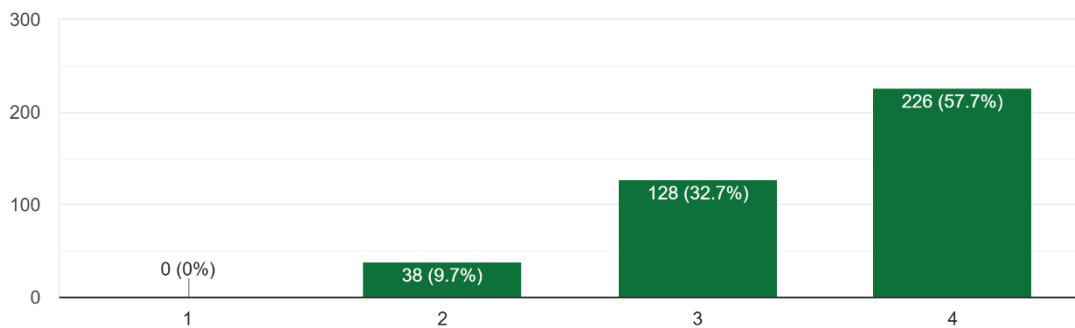
6. 学習する前に、これから何を学習しなければならないかについて考えますか？

392 件の回答



8. 学習している時、自分がわからないところはどこかを見つけようとしていますか？

392 件の回答

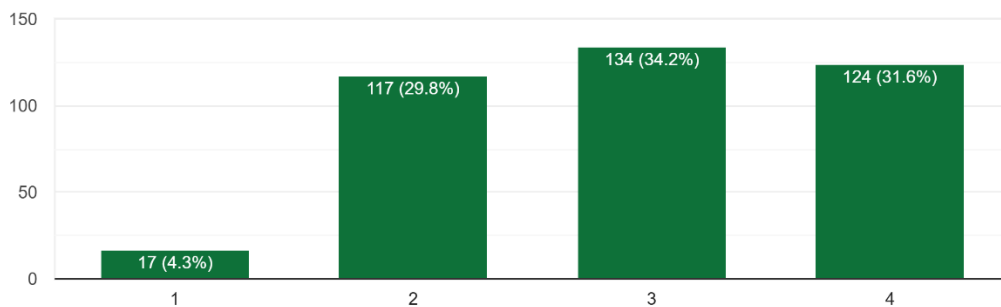


<介入の余地があるメタ認知活動>

- ・学習する時は最初に計画を立ててから学習を始める。
- ・学習している時、たまに止まって、一度やったところを見直す。
- ・学習している時、やった内容を覚えているかどうかを確認する。

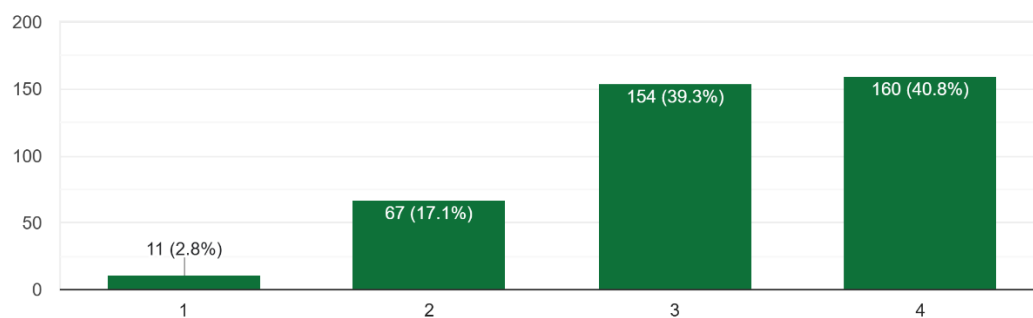
5. 学習する時は最初に計画を立ててから始めますか？

392件の回答



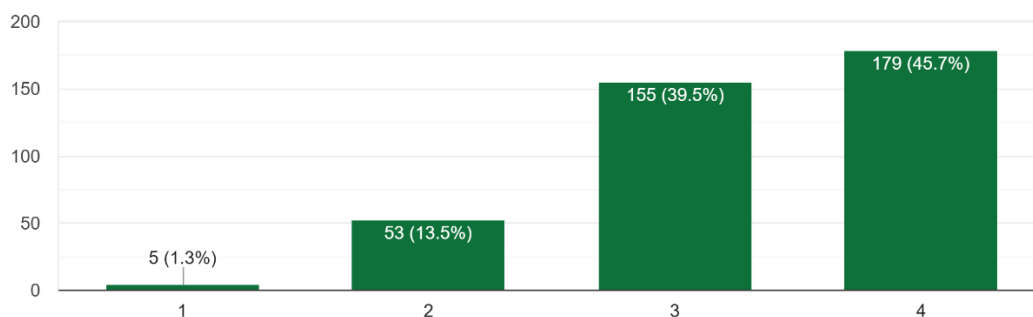
7. 学習している時、たまに止まって、一度やったところを見直しますか？

392件の回答



9. 学習している時、やった内容を覚えているかどうかを確かめますか？

392件の回答



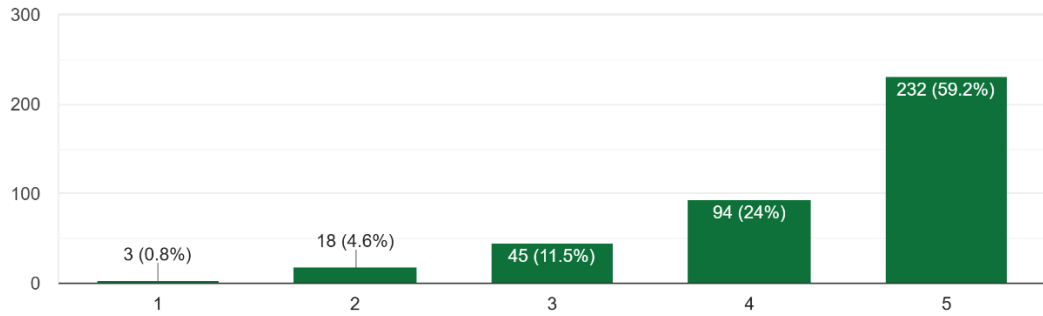
(2) 学習に対する動機づけ（やる気）

<優れている動機づけ>

- ・同一化的調整段階にある生徒が多い（活動を行う価値を認め、自分のものとして受け入れている状態を表す動機づけ）。この動機づけが高いことは継続的な学習行動につながる。

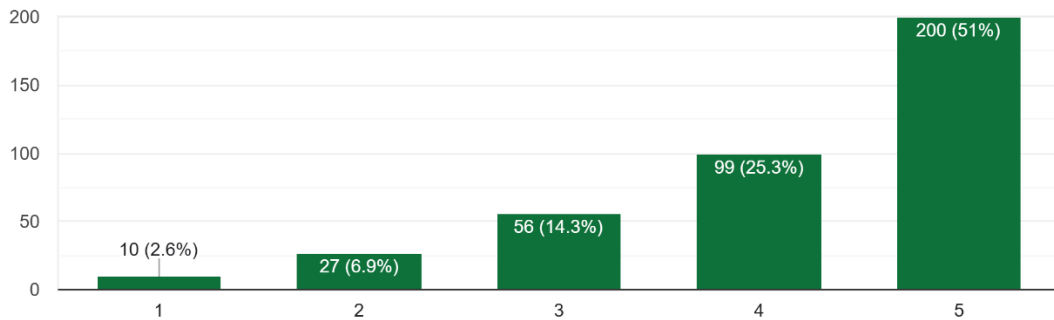
## 2. 将来の成功につながるから

392件の回答



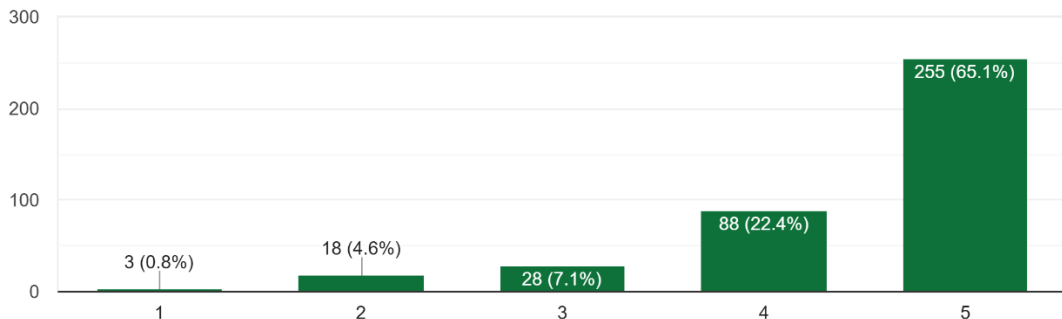
## 6. 自分の夢を実現したいから

392件の回答



## 10. 自分の希望する高校や大学に進みたいから

392件の回答

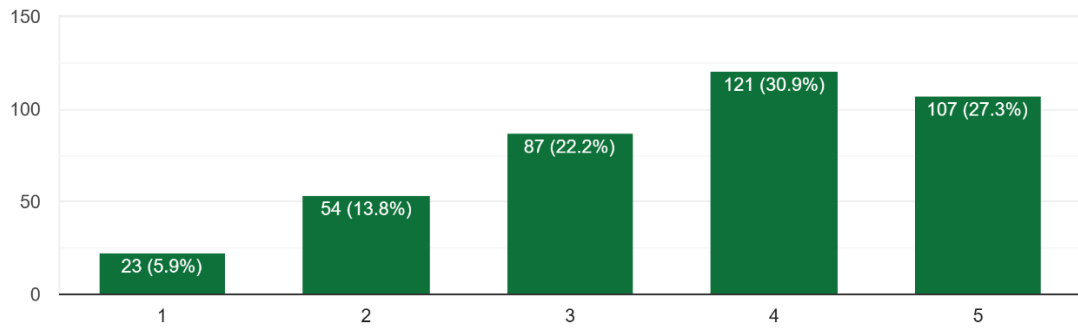


<介入の余地がある動機づけ>

- ・ 内的調整の動機づけをもつことができない生徒もいる（興味や楽しさに基づく従来の内発的動機づけに相当し、最も自律性の高い動機づけ）。

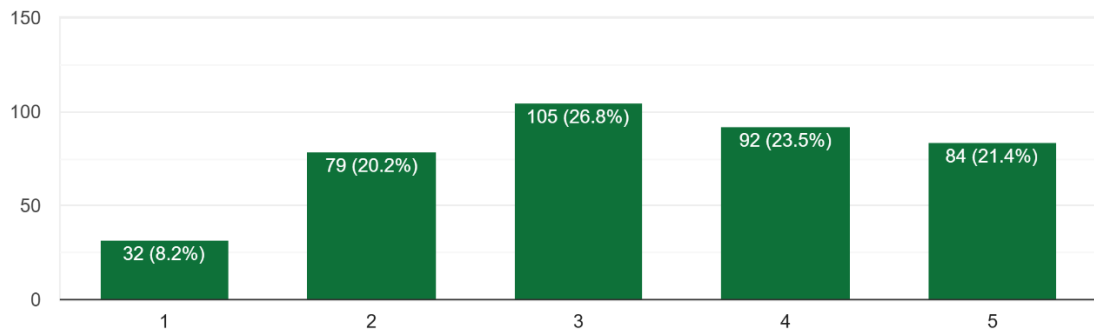
### 1. 問題を解くことがおもしろいから

392 件の回答



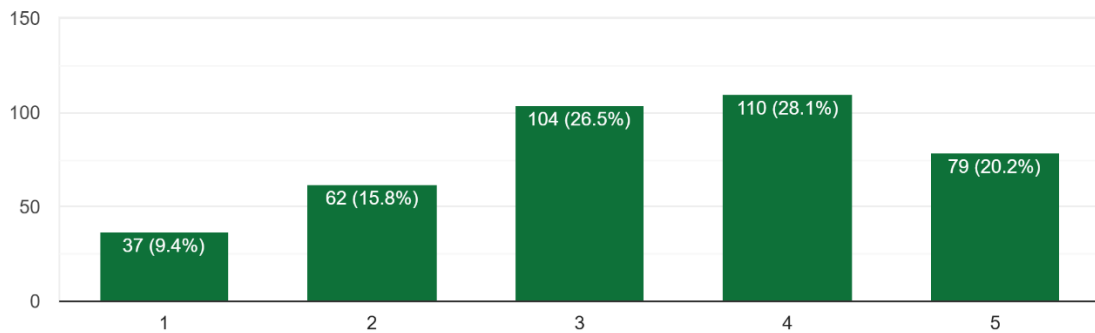
### 5. むずかしいことに挑戦することが楽しいから

392 件の回答



### 9. 学習すること自体がおもしろいから

392 件の回答



## 5. まとめ

- ・自律的な動機づけをもち、自己調整学習を実施できている生徒が多いため、主体的な学びを実現できている生徒が多いと言える。
- ・自己調整学習のやり方では、自分の学習上の特徴を理解し、それを意識しながら学習に取り組むことができている。一方、事前の学習計画を立てたり、学習中に一度立ち止まって自分の学習状況を確認したりする学習方法を習得できていない生徒も一定数存在している。学習計画を立てることや、立ち止まることの大切さを教授したり、体験的に理解できる指導や仕掛けを工夫したりすることは有益だと考えられる。
- ・動機づけでは、持続的な学習を促進する同一化的調整段階の動機づけをもつ生徒が多かった。一方、純粋に教科教育が楽しいと感じられない生徒も一定数存在することが確認された。これらの生徒が各教科に少しでも関心をもてるように、「楽しい授業」と感じられる動機づけ支援を工夫することが有効であると考えられる。

## 6. 測定した変数の詳細

以下に測定した変数の詳細について記載します。

生徒の学びを「①学習におけるメタ認知活動」、「②学習に対する動機づけ（やる気）」という2つの観点から調査しました。

### (1) 学習におけるメタ認知活動

学習におけるメタ認知活動とは、現在の学習状況を考慮し、後の学習の進行を調整する方略です（佐藤，1998）。これは、文部科学省が掲げる主体的な学びにおける「見通しをもって学習」、「自己の学習活動を振り返って次につなげる」と関連する概念です。中学生を対象とした研究において、この得点が学業成績を予測することが証明されています（西村・河村・櫻井，2011）。そのため、学習におけるメタ認知活動を測定しました。

学習におけるメタ認知活動を測定するため、市原・新井（2006）の中学生用メタ認知活動尺度を使用しました（Table 1）。それぞれの項目について、「1. 全く当てはまらない（1点）」から「4. とても当てはまる（4点）」の4件法で回答してもらいました。教示文は、「あなたの学習の仕方についてお尋ねします。以下の質問項目についてどの程度当てはまりますか。」でした。

Table 1. 学習におけるメタ認知活動を測定する項目（9項目）

- 
1. 学習している時に、やっていることが正しくできているかどうかを確かめますか？
  2. 学習を始める前に、これから何をどうやって学習するかを考えますか？
  3. 学習する時は、どんな内容なのかを考えてから始めますか？
  4. 学習する時は大切なところはどこかを考えながら学習しますか？
  5. 学習する時は最初に計画を立ててから始めますか？
  6. 学習する前に、これから何を学習しなければならないかについて考えますか？
  7. 学習している時、たまに止まって、一度やったところを見直しますか？
-

8. 学習している時、自分がわからないところはどこかを見つけようとしていますか？  
9. 学習している時、やった内容を覚えているかどうかを確かめますか？
- 

(2) 学習に対する動機づけ（やる気）

学習に対する動機づけは、文部科学省が掲げる主体的な学びにおける「学ぶことに興味や関心をもつ」、「自己のキャリア形成の方向性と関連づける」と関連する概念です。そのため、学習に対する動機づけを測定しました。自己決定理論（Deci & Ryan, 2002）によると、動機づけは自律性の程度によって「①外的調整」、「②取り入れて的調整」、「③同一化的調整」、「④内的調整」に分類されています。そのため、今回の調査においても、動機づけを4つの種類に分けて調査しました。それぞれの動機づけの特徴を Table 2 に示します。

Table 2. 動機づけの種類

- 
- ・外的調整：報酬の獲得や罰の回避、または社会的な規則などの外的な要求に基づく動機づけである。
  - ・取り入れた的調整：自我拡張や他者比較による自己価値の維持、罪や恥の感覚の回避などに基づく動機づけである。
  - ・同一化的調整：活動を行う価値を認め、自分のものとして受け入れている状態を表す動機づけである。
  - ・内的調整：興味や楽しさに基づく従来の内発的動機づけに相当し、最も自律性の高い動機づけである。
- 

同一化的調整と内的調整の動機づけは、自律的な学習動機とされ、学業成績を予測することが証明されています（Guay & Vallerand, 1997）。一方、外的調整の動機づけは、学業成績に負の影響を与えることが証明されています（西村・河村・櫻井, 2011）。

学習に対する動機づけを測定するため、西村・河村・櫻井（2011）の中学生用学習動機づけ尺度のなかから12項目（因子構造・因子負荷量を考慮して選定）を使用しました（Table 3）。それぞれの項目について、「1. 全く当てはまらない（1点）」から「5. とても当てはまる（5点）」の5件法で回答してもらいました。教示文は、「あなたの学習する理由についてお尋ねします。以下の項目は、あなたが学習する理由にどのくらいあてはまりますか。」でした。

Table 3. 学習に対する動機づけを測定する項目（20項目）

---

<内的調整>

1. 問題を解くことがおもしろいから
5. むずかしいことに挑戦することが楽しいから
9. 学習すること自体がおもしろいから

<同一化的調整>

2. 将来の成功につながるから
  6. 自分の夢を実現したいから
-

10. 自分の希望する高校や大学に進みたいから

<取り入れの調整>

3. 学習で友だちに負けたくないから

7. 友だちより良い成績をとりたいから

11. まわりの人にかしこいと思われたいから

<外的調整>

4. やらないとまわりの人がうるさいから

8. まわりの人から、やりなさいといわれるから

12. 成績が下がると、怒られるから

---